

NEXCO東日本グループのあゆみ

2005年10月に設立された「NEXCO東日本」は、前身の日本道路公団の分割・民営化により誕生し、グループ会社とともに、東日本地域の高速道路・自動車専用道路の建設と管理・運営を行っています。日本道路公団の歴史を含めると、もうすぐ70年。これからも培った経験とノウハウを活かし、高速道路の安全・安心・快適・便利を支え、日本経済の発展に貢献し続けます。

東日本高速道路株式会社 発足



日本道路公団が分割・民営化され、NEXCO東日本/中日本/西日本が誕生しました。(なお、ブランドネームのNEXCOは、2006年4月より使用しています。)

「Pasar」が誕生



「あるから利用する施設」から「進んで利用したくなる施設」へ。NEXCO東日本の挑戦第一歩となる「Pasar幕張」が開業しました。

東日本大震災による被災



震災の被害を受けた管内の区間は、20路線、約870km。NEXCO東日本グループで昼夜を問わない応急復旧に取り組み、震災から約20時間後には、緊急車両の通行を可能とする仮復旧を完了しました。その後も通行止め解除に向けた作業に取り組み、震災から13日後には、ほぼ全線で一般車両の通行を可能としました。



インフラ長寿命化計画 (行動計画) 策定

NEXCO東日本グループが管理する高速道路の老朽化への対応について、中長期的な取組みの方向性を取りまとめて公表しました。



関東支社道路管制センターリニューアル



最高水準の耐震基準を採用する道路管制センターとしてリニューアルしました。

SAの防災拠点化



「SAの防災拠点化」のフラッグシップとして、常磐道 守谷SA(上り線)がオープンし、SA機能に加え、有事の防災拠点機能も備わりました。

SMH運用開始



技術者とICT等のベストマッチングを目指した「SMH*プロジェクト」において、第1期の運用を開始しました。
*スマートメンテナンスハイウェイ (Smart Maintenance Highway)の略称

「moVision」が始動



「自動運転社会の実現を加速させる次世代高速道路の目指す姿」を取りまとめ、31項目からなる「重点プロジェクト」を始動しました。

2005

2006

2007

2008

2009

2010

2011

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

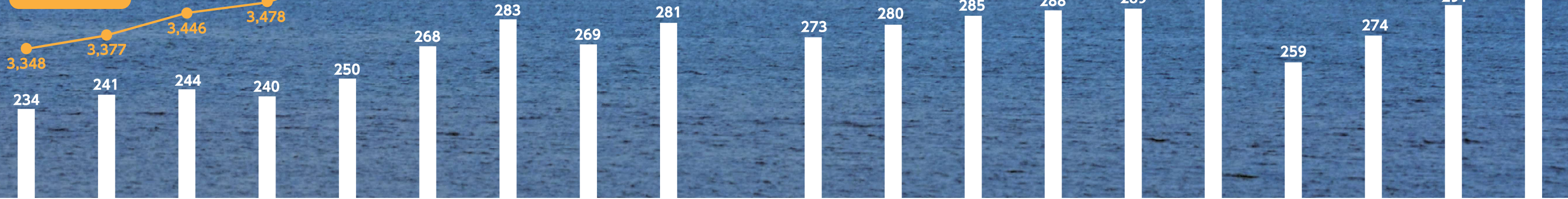
お客さまセンター開設

インド事務所設立

インド現地法人(ENI)設立

総合技術センター運用開始

営業延長 (km)



交通量 (万台/日)